

# 岡山大学構内遺跡調査研究年報13

1995年度

1996年10月

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

# 岡山大学構内遺跡調査研究年報13

1995年度

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

## 序

ここ数年、本学キャンパスではやや規模の大きい発掘調査がつづいています。1995年度においては、前年度からの継続であった福利厚生施設北棟予定地（津島岡大第13次調査）のほか、福利厚生施設南棟予定地（同14次調査）とサテライトベンチャービジネスラボラトリー予定地（同15次調査）の発掘を行い、全体で2300平方メートルあまりの調査面積となりました。

福利厚生施設北棟・南棟予定地では、弥生時代から古墳時代にかけての水田や溝の遺構などを、サテライトベンチャービジネスラボラトリー予定地では縄文時代のドングリ貯蔵施設などをそれぞれ調査し、低湿地部分における従来の成果にあらたな知見を加えることができました。とくに後者の貯蔵穴からは、穴の底に敷いていたか、あるいはドングリを直接包んでいたと思われる編み物が良好な状態で出土しました。軟弱になった植物繊維を取り上げるのに調査員一同たいへん苦心いたしました。さいわい96年度予算でこの貴重な編み物を専門業者に委託して恒久的な保存処置をすることが可能となりました。緊急な対応にご理解くださった各位にあらためてお礼申し上げます。

サテライトベンチャービジネスラボラトリーの発掘地は、1986—1987年度の第3次調査です。一部調査を終えていました。その後建設計画に変更があり、面積を拡大して再発掘するにいたったものです。やむをえない経緯があったわけですが、こうした変更は遺跡の保護や発掘調査実施の観点からすればやはり好ましいものとはいえ、建設計画と事前の発掘調査とのかかわりに課題を残した一面もあったように思われます。

本年度も発掘調査や室内作業の進行にあたっては、当センター管理委員会・運営委員会をはじめとする本学内外の関係機関、関係各位のご指導とご援助を賜りました。厚くお礼申し上げます。次第です。

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター長

稲 田 孝 司



## 例 言

- 1 本報告は岡山大学埋蔵文化財調査研究センターが岡山大学構内において1995年4月1日から1996年3月31日までに実施した埋蔵文化財の調査と保存、および活動成果をまとめたものである。
- 2 大学構内の埋蔵文化財の調査に際しては、設定基準を次のように定めた。
  - 1) 津島地区では、国土座標第Ⅴ座標系 ( $X = -144,500\text{m}$   $Y = -37,000\text{m}$ ) を起点とし、真北を基軸とした構内座標を設定した。一辺50mの方形区画である。また、同地区では調査の便宜上、大きく津島北地区と同南地区に二分する(図25)。
  - 2) 鹿田地区では、国土座標第Ⅴ座標系 ( $X = -149,800\text{m}$   $Y = -37,400\text{m}$ ) を起点とし、座標軸を $N15^{\circ}E$ に振ったものを基軸とした構内座標を設定した。地区割は一辺5mの方形を用いている(図27)。
  - 3) 本文中で用いる方位は、津島地区・鹿田地区は真北を、他は磁北を用いている。
- 3 岡山大学構内の遺跡の名称は、周知の遺跡の場合はそのまま踏襲する。津島地区構内については、全域を「津島岡大遺跡」と総称する。他地区は任意の名称で仮称する。
- 4 調査名称は、「発掘調査」に分類したものについては、各遺跡毎に調査順に従って次数番号で呼称し、「試掘調査」「立会調査」に分類したものは、任意の名称を用いる。発掘調査のうち、小規模で、試掘調査から連続して調査したものは、「試掘調査」に分類する。
- 5 「発掘調査」についての記述は現段階における概要であり、詳細は正式報告に依って頂きたい。「試掘調査」については、本年報での記述を正式報告にかえる。
- 6 表に記載した所属部は、原則として各学部の頭文字を略号として用いている。
- 7 本文・目次・挿図・写真などで使用の調査番号は表1と一致する。
- 8 本文は岩崎志保・光石鳴巳・山本悦世・横田美香が分担執筆し、執筆者名を末尾に記した。
- 9 津島地区出土種子の分析を沖陽子氏(岡山大学環境理工学部)に依頼し、その成果を附編として掲載した。
- 10 編集は稲田孝司センター長の指導のもとに、光石・岩崎が担当した。
- 11 本年報に掲載の津島地区の地形図は岡山発行の1/25000の地図を複製したものである。
- 12 調査・整理において以下の方々にご援助・教示を頂いた。記して感謝申し上げる。  
山本信夫、真鍋篤行、鈴木康之、扇崎由、高安真智子(順不同)

# 岡山大学構内遺跡調査研究年報13 1995年度

## 目 次

第1章 1995年度岡山大学構内遺跡調査報告	
第1節 調査の概要	1
第2節 発掘調査	1
1 津島岡大遺跡第13次調査〈福利厚生施設北棟予定地〉	1
2 津島岡大遺跡第14次調査〈福利厚生施設南棟予定地〉	6
3 津島岡大遺跡第15次調査 〈サテライトベンチャービジネスラボラトリー予定地〉	12
第3節 試掘調査	21
1 国際交流会館予定地	21
2 環境理工学部校舎予定地	22
3 ボクシング部ボックス移設地	24
第4節 立会調査	25
(1) 津島地区	25
(2) 鹿田地区	26
1 医学部アイソトープ総合センター焼却実験施設予定地	26
2 附属病院液酸タンク予定地	28
第2章 1995年度普及・研究・資料整理活動	34
1 資料整理	34
2 分析依頼	34
3 刊行物	34
4 調査員の活動	34
5 日誌抄	36
6 1995年度までの遺物保管状況	37
7 遺物の保存処理	39
8 資料の貸出	41
第3章 1995年度活動のまとめ	42
附 表	43
岡山大学構内埋蔵文化財保護対策要項	57
1 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター規程	57
2 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター管理委員会規程	58
3 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会規程	59
4 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター自己評価委員会規程	60
1995年度埋蔵文化財調査研究センター組織	61
1 センター組織一覧	61
2 管理委員会	61
3 運営委員会	62
附 編	63

## 挿 図 目 次

図 1	津島岡大遺跡第13次調査地点位置図	1
図 2	津島岡大遺跡第13次調査土層断面図	2
図 3	津島岡大遺跡第13次調査弥生～古墳時代遺構全体図	4
図 4	津島岡大遺跡第14次調査地点位置図	6
図 5	津島岡大遺跡第14次調査土層柱状図	7
図 6	津島岡大遺跡第14次調査14・15層検出遺構平面図	8
図 7	津島岡大遺跡第14次調査11～13層検出遺構平面図	9
図 8	津島岡大遺跡第14次調査9・10層検出遺構平面図	10
図 9	津島岡大遺跡第15次調査地点位置図	12
図10	津島岡大遺跡第15次調査土層断面図	14
図11	津島岡大遺跡第15次調査縄文時代後期・突帯文段階遺構全体図	17
図12	津島岡大遺跡第15次調査弥生時代遺構（5層）全体図	19
図13	津島岡大遺跡第15次調査弥生時代遺構（3層）全体図(2)	19
図14	国際交流会館予定地調査地点位置図	21
図15	国際交流会館予定地調査土層柱状図	21
図16	環境理工学部予定地調査地点位置図	22
図17	環境理工学部予定地調査土層断面図	23
図18	ボクシング部ボックス移設地点位置図	24
図19	ボクシング部ボックス移設地点土層断面図	25
図20	調査⑬調査地点位置図	26
図21	調査⑬土層断面と出土遺物実測図	27
図22	調査⑭調査地点位置図	28
図23	調査⑭調査地点	28
図24	調査⑭土層断面図	29
図25	津島地区全体図	31
図26	今年度の調査【1】津島地区	32
図27	今年度の調査【2】鹿田地区	33
図28	1995年度までの調査地点【1】津島地区	55
図29	1995年度までの調査地点【2】鹿田地区	56

## 写真目次

写真1	津島岡大遺跡第13次調査	土層断面	2
写真2	津島岡大遺跡第13次調査	縄文時代ピット群（北から）	3
写真3	津島岡大遺跡第13次調査	弥生～古墳時代前期遺構（西から）	4
写真4	津島岡大遺跡第14次調査	14層上面水田畦畔（西から）	9
写真5	津島岡大遺跡第14次調査	12層上面溝群（西から）	10
写真6	津島岡大遺跡第14次調査	溝1（西から）	10
写真7	津島岡大遺跡第15次調査	微高地上土層断面（南から）	14
写真8	津島岡大遺跡第15次調査	谷部（10ライン）土層断面（西から）	15
写真9	津島岡大遺跡第15次調査	縄文時代遺構全景（西半）	16
写真10	津島岡大遺跡第15次調査	サヌカイト集積土坑（西から）	18
写真11	津島岡大遺跡第15次調査	アンペラ出土状況（南から）	18
写真12	津島岡大遺跡第15次調査	貯蔵穴土層断面（東から）	18
写真13	津島岡大遺跡第15次調査	3層上面溝・畦畔（南から）	19
写真14	調査⑭	東壁土層（西から）	29
写真15	保存処理作業の経過		41
写真16	津島岡大遺跡第6次調査	出土種子(1)	65
写真17	津島岡大遺跡第6次調査	出土種子(2)	66

## 表目次

表1	1995年度調査一覧	30
表2	埋蔵文化財調査研究センター収蔵遺物一覧	37
附表1	1982年度以前の構内主要調査（1980～1982年度）	43
附表2	1994年度以前の構内主要調査（1983～1994年度）	44
附表2-1	(1) 発掘調査	44
附表2-2	(2) 試掘調査など	45
附表2-3	(3) 立会調査	47
附表3	埋蔵文化財調査室刊行物	53
附表4	埋蔵文化財調査研究センター刊行物	53